

島口教訓カレンダー

奄美群島日本復帰五十周年を記念して、平成十五年に作成した「島口教訓カレンダー」を復刻・大型版を作成しました。

消滅の危機に瀕していると指摘されている「奄美語（奄美方言・シマグチ）」の伝承活動に活用していただきますようお願いいたします。

なお、地域・集落によって表現等が多少異なっているかと思えますので、地域・集落の現状に即した形で御活用ください。

平成二十七年九月吉日

奄美市教育委員会

やーな

家慣れどふ

すとふな

外慣れ

1

家庭における子供のしつけ、生活習慣はよかれあしかれ外に出てもそのまま表れるものである。あいさつ、言葉づかい、整理整とんなど、親の責任で正しくきちんとしてつけなくてはならない。

2

花ならば匂ひ

枝ぶりやいらん 姿振り

ちゆ ころろ

やいらん 人や心

なり

花は姿形よりも匂いが尊ばれる。そのように人間も容貌よりも心の美しいのが尊いのだ。

3

難儀苦しみや

腕^{みが}研く砥石

研きや研くからに

ひかり出^いじて

難儀苦勞することは人間を鍛える砥石と思いなさ

い。難儀苦勞を経てこそ人間は立派になるのです。

4

わあ

とぶき

若しやん時ぬ難儀や

こら

買てでん しりよ

若いときの難儀苦勞は、将来の大成のためのよい経験である。難儀な仕事でもすすんで引き受けてやるようにしなさい。

5

むじ

水や山うかげ

ちゆ しけん

人や世間うかげ

水が山の森林によって育まれるように、我々人間は直接間接に世間の恩恵を受けている。世間（他人）様に感謝し、地域のために役立つようにしたいものだ。

6

下手からどなるふ習なるて

上手なりゆる

及うもばんと思うもて思案
しんな

はじめから上手な人はいない。一所懸命努力してこそ立派な人間になるのです。下手だからといって嘆いたり悩んではいけない。

7

親うやぬ教訓ゆしぐとふや

わ身の宝

耳みに聞こち

肝きむに染し

むり

親のおっしゃる言葉（教訓）はわが身の宝である。

耳に聞き止めて心に染めなければならぬ。

くふいくふとば

じんかね

挨拶や銭金や

い

要らん

8

人間関係に大切なことは、金や物だけでなく、心のこもった温かい言葉のやりとりである。隣近所に心のこもった挨拶や言葉を交わし、明るく楽しい日々を過ごしたいものだ。

9

こころむ

心持ちなりや

ばしや

ひる

芭蕉ぬ葉ぬ広さ

松ぬ葉ぬ狭さん

心持つな

心持ちは芭蕉の葉のように広く持ちなさい。松の葉のように狭い心を持ってはいけません。

10

かな
くわ
愛しやん子や

ちゆ
みし
他人ぬ飯かまし

最愛なる子供には、他人の職場で厳しく鍛えても
らうことが大切だ。大成につながるものである。

11

じょうず

話し上手なりゆん

くま

聞き上手なりい

話し上手なものよいが、それにまして大事なことは聞き上手である。子供が心を開き、何でも語れる親子関係こそ大事である。

12

木ぬ曲がり物や

むん

ちか

使わりゆつか

ちゆ

人ぬ曲がり者や

むん

ちか

使わらん

木の曲がりには建築材料などそれなりの用途はあるが、人の心や性格のひねくれたものは使いにくく役に立たない。

13

どふくさ

健康どふ宝

健康こそ幸福の源だ。病気をしてはじめて健康のありがたさがしみじみとわかる。健康保持と増進に日頃の心がけが大切である。

14

たまくふがねうや な

玉黄金親や産しどふ

産しやるる

きむだませー

な

肝魂副えてや産さ

らん

親は産んだだけで知恵までつけて産むことはできない。

これから知恵や学問は自分で努力して身につけよ。

15

くわまが

じんかね

子孫に銭金くりり

ゆんくま

たまし

魂くれれ

かわいい子供や孫には銭を与えるよりも知恵や魂

(心)を与えるようにしなさい。

16

むん
物事ぬ知り果てや

ね
無ん

生きている限り物事を知り尽くしたということはない。今や情報化社会をよりよく生きぬくためには、常に新しい知識を求めて学び続けなければならないのである。

17

わらふい さき

童ぬ先とふ

むんづくり さき

作物ぬ先や

わからん

子供の将来は未知であり、農作物を植えたあと、どのように実りの秋を迎えるかは予測がつかない。

18

とふ

きよでん

遠さぬ親戚くま

ちきや

ちゆ

近さぬ他人

遠くにいる親戚よりも近くにいる他人に世話になることが多いものである。かねてから近所付き合いを大事にしなさい。

19

やま

山ぬ木ぬ高さや

たあ

風に憎まりゆり

きむだあ

気分高さをむてば

ちゆ

他人に憎まりゆり

山林の一段とそびえ立つ木は、風当たりが強い。気分高くする人は他人に嫌われる。

20

ちゆのう あ

一能や有り

人間にはそれぞれ他人にまねのできない一つの能力を持っているものである。

21

い
出じやしやん言葉や
ゆむた

ぬ
呑みんきやならん

自分が口に出した言葉が物議をかもしだしたり、
誤解を招いたりすることもある。軽はずみなおしゃ
べりは慎みなさい。

22

ね くせ
無ん癖や言いしも

くせ
有ん癖や言うな

人は無くて七癖といわれる。自分の癖や欠点を他人からいわれると不愉快である。

「人の欲せざることをいうものではない。」

23

待ていば大漁

ま

ふーゆ

準備万端怠りなく、いつ大漁がかかってもその千載一遇のチャンスを逃さないように辛抱強く待つことが大切である。

24

ろかじさだ

櫓舵定みてどふ船や

は

走らしゆる

寸法はじらすな

きむ

たづな

肝ぬ手綱

船は方向を定めて走らすものだ。事をなすには方向や計画を綿密に立て、方向を誤らないよう心を引き締めよ。

25

じんかね

銭金ぬ有ていむ

むん

物豊か有ていむ

こころ

どうし

心からぬ友に及び
ならん

銭金があるよりも、物が豊かであることよりも、心から信頼できる友を持つことに勝るものはない。

26

うや
な

親に生されてどぶ

く

此ん明るさ見ちやる

わん
な

ひや
く
せ

吾生ちやる親ぬ百歳

願お

親に生んでもらってこの世にでてきたのです。生んでくれた親が百歳まで長生きするよう願おう。

27

みなききな

見慣れ聞き慣れや

学問に勝り

ちゆ

ゆかり人ぬ行い見
ちやり聞きちやり

人のすることを見たり聞いたりすることは、学問
以上に役立つものだ。立派な人の行いを見たり聞い
たりしなさい。

28

ちゆはぎ うく

一足ぬ遅れや

とうはぎ うく

十足ぬ遅れ

なまけ心を起こして手を休めてはならない。かねてからコツコツ努力をしなさい。継続が大切である。

29

いそ
がん
急ぎゆん蟹や

むう

穴ち入りじやしや

ん

いつも機敏なカニも急ぎすぎると自分の穴をまちがえてしまう。落ち着いて安全に行動することが大切である

30

あち

さ

熱さや冷まし

ねた

こ

妬さや堪ねり

熱いものは冷ましてゆっくり飲みなさい。腹が立つときは、こらえにこらえて我慢しよう。「短気が損気にならぬよう」冷静に考えよ。

31

いちがりん有んち

うも

うや

じんかね

思うな親と銭金

親や祖父母が元気なうちは、いつまでも元気があ
ると思い、親孝行の一つもしないままに過ぎていく
が、亡くなつてはじめて親のありがたさがわかるも
のである。悔いを残さないようにしたいものである。